豊田市洪水ハザードマップ

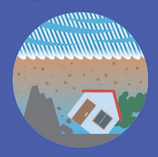
石野 中学校区



命を守る行動をとろう！

想定される最大の浸水状況

1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨



－注意事項－
- マップに示した浸水の予想される深さや範囲は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。
- このマップは、洪水浸水想定区域図、内水浸水想定区域図、ため池ハザードマップなどの情報に基づいて作成しています。
- 国・県管理河川からの氾濫は、各河川管理者が「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）に基づき解析を行っています。
- 一部の豊田市管理河川等からの氾濫については「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）に記載されている土木研究所RRIモデルを用いて解析を行っています。
- 内水氾濫により想定される浸水深は、20cm以上を図示しています。
- ため池からの氾濫は、満水のため池が決壊した際の影響範囲を図示しています。
- 浸水実績（平成12年東海豪雨）の区域は、当時の聞き取り等により作成したものを図示しています。このマップは、土地利用や都市施設の変遷（宅地造成等）を反映した上での解析結果を掲載しているため、浸水実績（平成12年東海豪雨）が浸水想定区域内に含まれていないことがあります。
- 土砂災害警戒区域等は令和2年12月8日現在の内容です。
- 事後の基礎調査によって土砂災害警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります。
- 一時避難場所・一時車両退避場所は、市内全域を対象とし、一時的に利用できる施設です。

凡　例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）※
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）※
- 浸水実績（H12東海豪雨）
- 土砂災害特別警戒区域※
- 土砂災害警戒区域※
- 土砂災害危険箇所

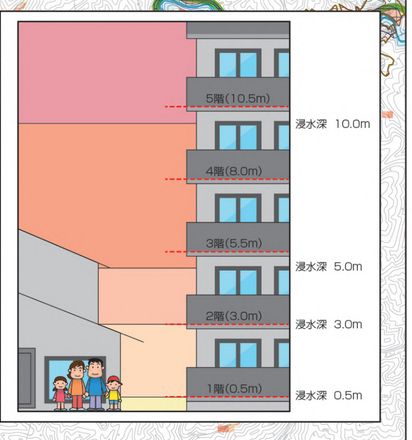
※詳しくは裏面を参照してください。

- 緊急輸送道路等
- 道路（国道・県道）
- 中学校区

- 風水害時の指定緊急避難場所
- 一時避難場所 一時車両退避場所
- 官公庁・消防署・警察署
- 河川監視カメラ
- 水位観測所
- 雨量観測所
- No. 要配慮者利用施設

想定される浸水の深さ

	10m以上 ～
	5m以上 ～ 10m未満
	3m以上 ～ 5m未満
	0.5m以上 ～ 3m未満
	～ 0.5m未満



No. 要配慮者利用施設　（令和2年12月時点）

番号	名　称	番号	名　称
43	住宅型有料老人ホーム　ハート	143	則定こども園
46	デイサービスたいようのいえ	146	飯野こども園
60	住宅型有料老人ホーム　ハートII番館	149	生活介護事業はる
62	四季彩けやき	159	介護老人保健施設フジオカ
69	デイサービスおかげ庵けやき	171	平井小学校
72	グループホームたいようのいえ	172	西広瀬小学校
73	放課後等デイサービス能力探求スクールジーニアス荒井校	173	中金小学校
88	かけはし豊田	174	上鷹見小学校
106	越戸こども園	175	幸海小学校
107	P-BASE　高橋店	178	御作小学校
110	Growup豊田	183	則定小学校
121	則定小学校放課後児童クラブ	190	飯野小学校
124	幸海小学校放課後児童クラブ	193	石野中学校
127	西広瀬小学校放課後児童クラブ	200	杜若高等学校
128	上鷹見小学校放課後児童クラブ	201	ルネサンス豊田高等学校
135	御作こども園	203	御作小学校（放課後児童クラブ）
139	御船こども園		

一時避難場所（協定施設）

番号	名　称
／	豊田高専（第二体育館）※駐車場は利用できません。
／	中京大学
／	愛知工業大学
／	愛知学泉大学
／	ZENT大清水店（駐車場）
／	ZENT豊田本店（駐車場）
／	ZENT若林店（駐車場）

大規模な災害が想定され市から発表があった場合に限り、一時的に利用できる施設です。避難時は各自で必要なものをご持参ください。

一時車両退避場所（公共施設）

番号	名　称
／	市民文化会館
／	昆森公園（駐車場）
／	西山公園（駐車場）
／	新生公園（駐車場）
12	鞍ヶ池緑地（駐車場）
13	猿投公園（駐車場）
／	土橋公園（駐車場）
／	井上公園（駐車場）
／	丸山公園（駐車場）
17	石野運動広場（駐車場）

大規模な災害が想定され市から発表があった場合に限り、一時的に駐車できる施設です。避難時は各自で必要なものをご持参ください。

風水害時の指定緊急避難場所

は体育館が利用できない施設です。

番号	名　称	電　話	避難スペース
77	石野中学校	41-2016	体育館
78	東広瀬小学校	41-2012	体育館
20	高橋中学校	80-0412	体育館
22	平井小学校	80-3011	北校舎、南校舎②（土砂）
23	矢並小学校	88-3100	体育館
24	市木小学校	80-0385	体育館
25	美里中学校	89-1731	体育館
26	野見小学校	80-0372	体育館
27	東山小学校	80-7581	体育館
28	広川台小学校	80-2801	体育館
60	猿投台中学校	45-0039	体育館
61	青木小学校	45-0025	体育館
66	井上小学校	45-2411	体育館
90	藤岡中学校	76-2521	体育館
91	藤岡体育センター	76-6060	体育館
92	御作小学校	76-2512	校舎②（土砂）
93	中山小学校	76-2509	体育館
94	加茂丘高等学校	76-2241	体育館
103	霧山多目的集会所	—	集会室

○内の数値は階数を示し、その階数以上の階へ避難することを示しています。

官公庁・消防署・警察署

	番号	名　称	電　話
石野	8	石野出張所（石野交流館）	41-2001
	11	北消防署力石出張所	42-1751
	25	広瀬駐在所	35-0110
対象校区外施設	3	高橋コミュニティセンター	80-4729
	13	中消防署東分署	87-0360
	30	高橋交番	35-0110
	31	美山交番	35-0110
	45	高橋交流館	88-4887
	46	美里交流館	80-1697
	54	猿投台交流館	45-2838
	61	藤岡支所（藤岡交流館）	76-2101
	72	藤岡交番	35-0110
	83	東大島駐在所	62-0110
	88	藤岡南交流館	75-1707

水位観測所

	番号	名　称
石野	3	猿投
	9	新富国橋
対象校区外施設	24	平戸橋
	28	京ヶ峰橋
	29	市木川大橋
	31	飯野新橋
	35	滝穂橋

雨量観測所

	番号	名　称
石野	12	猿投
	13	藤沢
	14	上高
	16	力石
対象校区外施設	7	矢並
	15	西広瀬
	28	藤岡

河川監視カメラ

	番号	名　称
石野	23	広梅橋下付近（矢作川）
対象校区外施設	7	藤岡飯野町（飯野川）
	9	月原町（阿摺川）
	20	上川口やな付近（矢作川）
	21	加茂橋下付近（矢作川）
	22	阿摺ダム付近（矢作川）
	24	平戸橋下付近（矢作川）

（令和3年3月　作成）　　測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 466

1:20000　1000　0　1000　2000　3000m

災害から命を守るのは まず、あなた自身です



【ハザードマップとは】

豊田市洪水ハザードマップは、大雨による被害から皆さんが避難する際の参考となる情報をまとめたものです。このマップには、矢作川をはじめとした市内の主要な河川が大雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域や深さ、土砂災害の危険箇所、避難場所などを表示しています。

1 災害リスクを知ろう

まずは、自分の住んでいる地域の災害リスク（被害想定）を把握しましょう。

河川の氾濫によって予想される浸水の範囲と深さのほか、指定緊急避難場所などの情報が記載されています。
想定最大規模降雨（1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨*）での被害想定になります。



1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨*：1,000年毎に1回発生する雨期的な大雨ではなく、1年間という期間でみた場合、毎年1/1,000(0.1%)程度の確率で発生する規模の大雨のことです。発生率は低いですが、今 年や来年に発生する可能性もあります。何より、ひとたび発生すると猛烈な大雨となるため、いざという時に命を守る行動をとれるように日頃から十分な備えが必要です。

詳しくはこちらのWebで・・・

洪水ハザードマップに関する様々な情報をまとめています。

- ●洪水ハザードマップデータ（PDF）
- ●とよたiマップ（防災マップ）*
- ●河川氾濫等の解析条件
- ●リアルタイム防災情報　など

とよたiマップ（防災マップ）*：Web上の地図に様々な災害リスクを重ねて表示できる地図情報サービスです。自由に拡大・縮小ができるため、自宅付近の災害リスクをより詳細に確認することができます。

2 避難先と避難経路を確認しよう

緊急時にあわてず無事に避難するには、事前の準備と確認が必要です。

避難行動について知ろう

水平避難（立退き避難）

浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険区域から離れ、安全な場所へ避難します。

離れた場所への移動のため、避難に一定の時間が必要です。事前に安全な避難経路や移動手段を確認したうえで、余裕を持って避難を開始しましょう。

垂直避難（上階等移動）

安全な場所へ水平避難する時間がない場合や逃げ遅れてしまった場合は、命を守るために、自宅の2階や近所の頑丈な建物のなるべく高い階など危険が及ばない場所に避難します。

おくまで命を守るための行動であり、浸水が長時間継続した場合や危険区域内に孤立した場合の問題点も考えておきましょう。豊田市には浸水が1週間続く箇所もあります。

屋内安全確保（在宅避難）

浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険がない場所または影響が少ない場所で、屋外に避難する方がかえって危険と判断される場合は、自宅などその場に留まり、安全を確保します。

電気・水道・ガスの停止に備えた準備や食料、水、常備薬などの用意を日頃からしておきましょう。

避難先を考えよう

・表面のマップにアイコン表示がある避難先は「指定緊急避難場所」と「一時避難場所・一時車両退避場所」です。
・避難先はこの2つである必要はありません。下で紹介する施設等を参考に、自身や自宅の状況に応じて最適な避難先を考えておきましょう。

指定緊急避難場所

災害の危険から身を守るために緊急的な避難先として市が指定している施設です。風水害時に使用できない緊急避難場所もあります。

車中泊

安全な場所に停めた車中での避難です。プライバシー確保に有効ですが、エコノミークラス症候群対策など体調管理に注意が必要です。指定緊急避難場所駐車場のほか、一時的に開設される一時避難場所や一時車両退避場所を活用しましょう。

自宅

屋外に避難する方がかえって危険な場合があるため、屋内で身の安全を確保する在宅避難も考えましょう。危険を感じたら自宅の2階へ垂直避難するなど身を守りましょう。

自主避難場所

自治区が指定する避難場所です。緊急避難場所が開設されるまでの待機場所や住民の避難所など地域によって指定の有無や取扱いが異なります。

親類・知人宅

安全な場所に身を寄せられる親類や知人がいれば、避難先として活用を考えましょう。日頃から避難について相談しておきましょう。

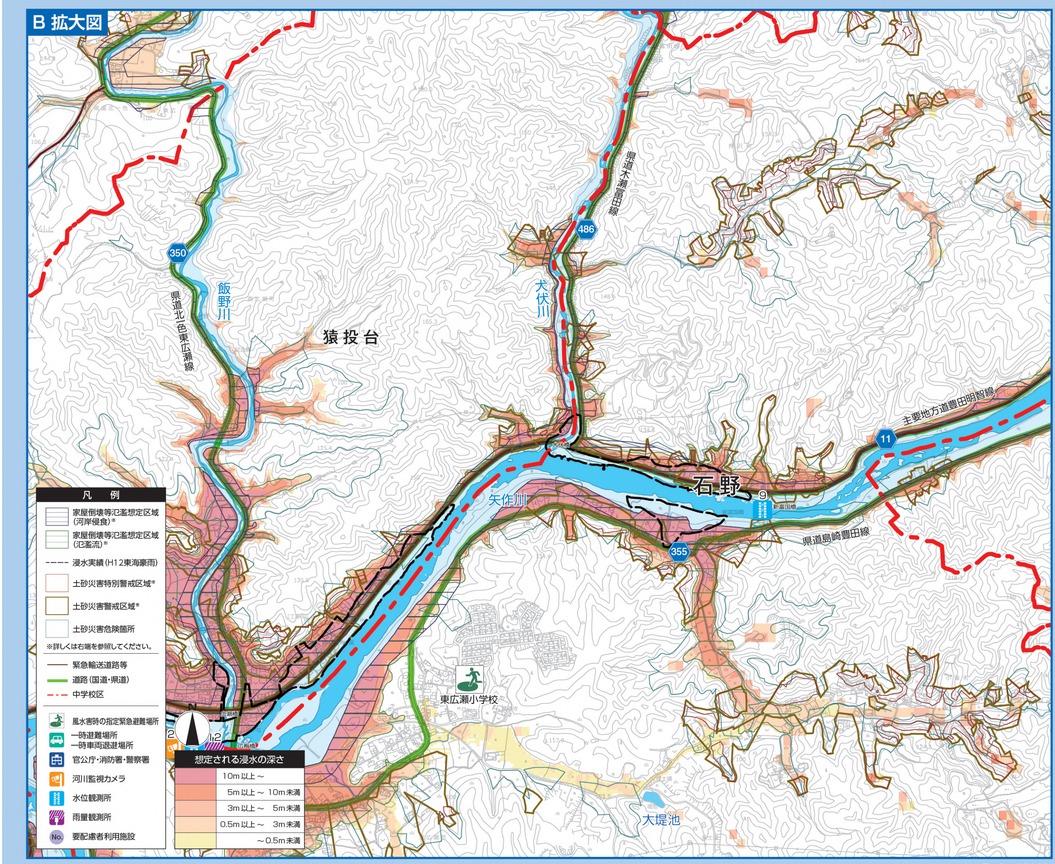
緊急退避場所（最後に命を守る場所）

逃げ遅れた場合などに、命を守るため緊急的に安全を確保する場所です。すぐに移動できる少しでも安全な場所を、あらかじめ緊急退避場所として決めておきましょう。

避難先選定フローチャート（参考）



B 拡大図

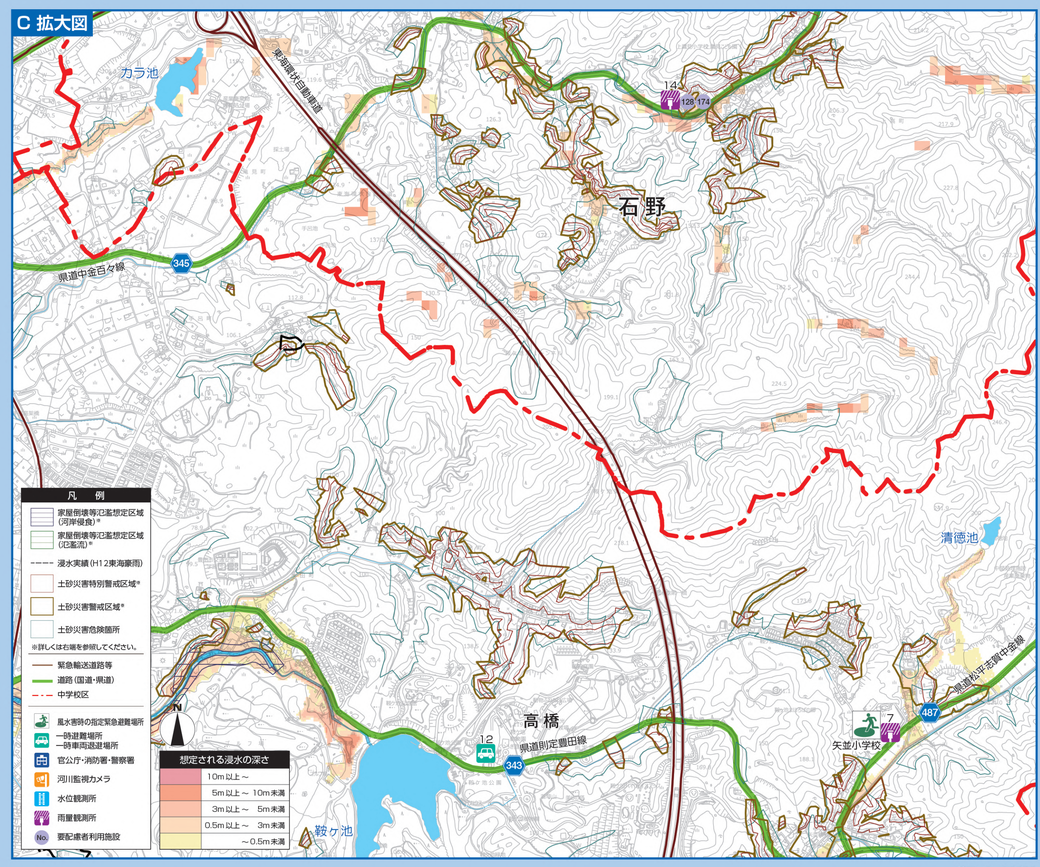


縮尺　1：10000

A 拡大図

縮尺　1：10000

C 拡大図



縮尺　1：10000

大雨が降った時に生じる災害リスク

河川氾濫による浸水

河川の水位が上昇し、堤防から水があふれたり、堤防が崩れたりすると、家屋、道路、農地などまちが水につかります。大雨の規模によっては、ビルの5階以上が水につかる箇所も出てきます。



家屋倒壊等氾濫想定区域

大規模な洪水が発生した場合、家屋が倒壊もしくは流失する危険がある区域です。水平避難が必要であり、垂直避難を避けるべき区域です。家屋が倒壊する原因は、堤防が決壊した場合に発生する激しい氾濫流や河川の流れによって護岸や堤防と共に侵食される河岸侵食などを想定しています。



内水氾濫による浸水

水路やマンホールから水があふれたり、低い土地では水が溜まったままになります。通常、まちに降った雨は、水路や側溝などを通って河川に排水されますが、大雨が降ると、河川水位が上がり、水路から河川に排水されにくくなります。河川の水位が下がらないと、浸水が長時間続く箇所も出てきます。

ため池の決壊

ため池は、利水目的（農業等に使用）以外に、大雨の時に水を一時的に貯める機能を持っています。ため池が決壊した場合は、ため池の下流側で浸水が発生する可能性があります。

土砂災害

大雨に伴って、山の斜面やがけが崩れる「がけ崩れ」、緩やかな斜面が地下水の影響などでゆっくりと崩れていく「地すべり」、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れ、家屋、道路、農地が土砂で埋まる「土石流」などで発生する災害です。



土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民の生命や身体に、危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。



土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

